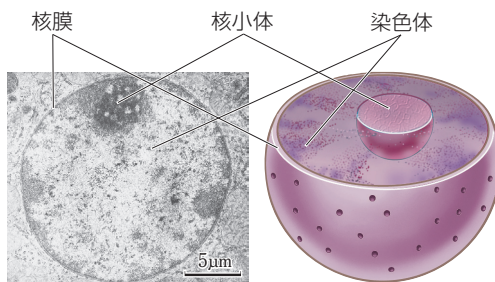


▲図2 電子顕微鏡で見たときの動物細胞の模式図

染色体と核膜は細胞周期に従って形を変える。間期には核膜があり、染色体は核の中で分散している。分裂期には核膜が消失し、染色体は凝縮して短い棒状の構造になる(⇒p.15)。転写によってできた



▲図3 核の電子顕微鏡写真(左)と模式図(右)

RNAは、核膜孔を通して細胞質基質に移動し、翻訳される(⇒p.94)。核小体ではリボソーム(⇒p.10)を構成するRNA(⇒p.91)の転写が行われている。

●ミトコンドリア● 呼吸にかかわる細胞小器官で、粒状または糸状の形をしている。ミトコンドリアは外膜と内膜からなる。内部に向かって突出して